

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
 「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の取り組み
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	広い活動空間を確保している	・室内環境の見直しを行ったことで、子どもたちが目的を持って過ごせる姿が増えてきた。今後も随時室内環境の見直しを行なっていく。 ・毎日清掃を行い、清潔な環境保持を行なっている。壁紙が剥がれている部分があるので、修繕等も行い綺麗な環境作りを推進していく
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	基準以上の職員を配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	部屋ごとの遊びの目的を設定し、過ごしやすい環境を作っている 点字ブロックや車椅子でも使用できるトイレがある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	毎日館内の清掃を行っている 感染症対策で、不特定多数の人が触れるものは清拭を行なっている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	89%	11%	業務改善は行なっているが、全てにPDCAサイクルを意識して取り組めていない	・実行後の見直しや振り返りの時間を持っていないこともあったので、期限をきちんと設定して実行と振り返り、修正を行なっていく。会議等で検討の機会を持つ。 ・実習生やボランティア、視察研修等の受け入れを今後も積極的に行なっていき、いただいた感想を職員全体にフィードバックし業務改善に繋げていく ・コロナの状況を見ながらも、今後は積極的に外部の研修にも参加をしていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	アンケートを実施している。アンケート以外にも日頃からのコミュニケーションで聞かれる保護者の声を参考に業務改善に取り組んでいる	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	事業所の掲示板やホームページに掲載している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%	視察の方や研修・実習生を受け入れており、感想をもらうようにしている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	法人が開催する研修に参加している。外部研修にももっと参加していきたい	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	相談支援専門員や保育所の先生とも情報を交換しながら作成を行なっている	・リーダーチャートの活用を行なっていく。就学に向けた継続支援や関係機関との連携の場面でリーダーチャートの活用を進めていく ・朝のミーティングの仕方を見直したことで、その日の支援の狙いや目標を職員間で理解することが以前よりできやすくなった。より良い形を今後も模索しながら、チームで共通理解のもと、支援を行なっていけるように改善を進めていく。クラスごとの掲示板を作り、職員が情報に触れやすい仕組みも整えていく。 ・終礼のあり方についても見直しを行なっていく。報告が多くなってしまっている部分もあるので、質問や意見を出し合いながら、支援の方向性や関わり方のあり方を深く検討する時間にしていけるよう意識して取り組んでいく。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	78%	22%	保育経過記録等の活用をしていきたいが、まだ十分にできていない 検査結果や訓練記録等も参考にしている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	保護者様の意向や相談支援専門員、保育所等からいただく情報を参考に計画の作成を行なっている	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	・計画で示した目標等を基に個々の発達段階に合わせた支援を行なっている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	ミーティング等で確認している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	製作や音楽教室といったプログラムも行なってみて、子どもたちが良い反応を見せてくれた	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	個別及び集団での様子。保育所での様子等も含めて計画の作成を行なっている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	毎朝ミーティングを行い、目的や役割、注意点などを確認するようにしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	毎日終礼を行い、振り返りの中で反省や成長が見られた点などを共有し、次の支援に繋げている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	毎日、支援の記録を残している	
20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	相談支援専門員とも連携しながら計画の見直しや更新を行なっている		
21 相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	児童発達支援管理責任者や担任が参加できるようにしている	・地域関係機関との連携は年々深まっており、就学に向けた継続支援では相談支援専門員や保育所、関係機関の皆様との協働支援をする機会を多く持つことができた。コロナ等の影響もあったが、引き続き顔の見え	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	日頃から保健師さんと互いに連絡を取り合い、役割分担しながら協力して取り組む体制ができていくと思う		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0%	0%	対象児童がいない	関係作りを意識し、互いの長所を活かしながら地域の皆様と協力し子どもたちのより良い成長をサポートしていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0%	0%	対象児童がいない	・研修等を行う際に、発達障害者支援センターの協力を得たり、他の児童発達支援センター等との取り組みの情報交換を行なっている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	特に就学前のお子さんについては保育所等と協力しながら就学に向けた接続支援を行なっている	・自立支援協議会に参加しているが、状況報告等を職員に十分に周知することができていなかった。ミーティング等の時間に伝達を行なっていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	就学予定の学校に交流で行き、入学前から学校になれる機会を作ることができた 会議に出席したり、就学予定の学校に児童を連れて交流に行く機会を今年には作ることができた。	・毎週金曜日に親グループでの情報交換会を開催しており、心理担当職員も参加をしている。引き続き保護者同士の繋がりが持てる機会を確保していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	89%	11%	保育所やこども園、相談支援事業所、市役所や児童相談所といった機関と連携・協働する機会が増えた。 助言をしたり、されたりしながら協力体制ができていく。 他の児童や発達障害者支援センターから助言や研修を受ける機会はあまりなかった	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、子どもと活動する機会があるか	89%	11%	併行通園している児童が多いのほとんどの児童が保育所と併行通園しながら利用している	
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	67%	33%	参加している 具体的な取り組みは知らない	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	連絡ノートを発行し、おさんの姿や成長をお伝えしている 何かあれば電話等をして情報交換を行なっている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	78%	22%	親グループでの情報交換の時間がある	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	利用開始前に面談し説明を行い同意を得ている	・全体の保護者連絡会は徐々に開催をしていっている。行事等の機会には保護者連絡会を開催し、保護者同士の繋がりが持てる機会を提供していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	面談時に保護者様に説明して同意を得ている	・コドモンを導入してからは「連絡が楽になった」「便利になった」という感想を聞くことが多く、導入効果が出ていることを大変嬉しく思う。まだ機能を十分に使いこなせていない部分もあるので、情報発信の手段としてうまく活用していきたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	必ず半年に1度は対面での面談を行い、情報交換や助言等を行なっている。 毎週金曜日に親グループを開催し、助言や情報交換をする機会を作っている	・地域との交流イベントの開催については、状況を見ながら検討をしていく段階にある。保護者等が参加できる行事の再開を優先に進めていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	78%	22%	コロナで多くは開催できなかった	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	管理者や児童発達支援管理責任者が対応している。主任や児発管に相談・報告をする仕組みを職員全体に周知している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	なかよし便りを定期的に発行し情報発信をしている	
	38	個人情報取り扱いに十分注意しているか	100%	0%	施錠のできる棚に書類を保管している 個人情報を含む書類等を発送する場合は二重チェックを行い、誤って他の人に書類が渡らないよう細心の注意を払っている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	コドモン等のアプリを活用することで情報交換をしやすい仕組みを整えている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	67%	33%	コロナの影響でここ数年は開催ができていない	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	78%	22%	周知できていないご家庭があった 面談時にお伝えしている	・マニュアル等の配布は引き続きコドモンを活用し情報発信を行なっていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	避難訓練等を毎月実施している	・服薬やアレルギー等、命に関わる情報は面談時にしっかりと確認をして周知している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	利用前の面談時に確認している	・小さな怪我であっても必ず報告書を作成し全体共有をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	保護者に確認し、必ず指示書をいただくようにしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	ヒヤリハット、小さなけがなども全て報告書を作り職員間で周知している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	研修に参加している 倫理綱領を唱和している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	身体拘束は行わない 対象となる児童がいる場合には事前に説明を行う	